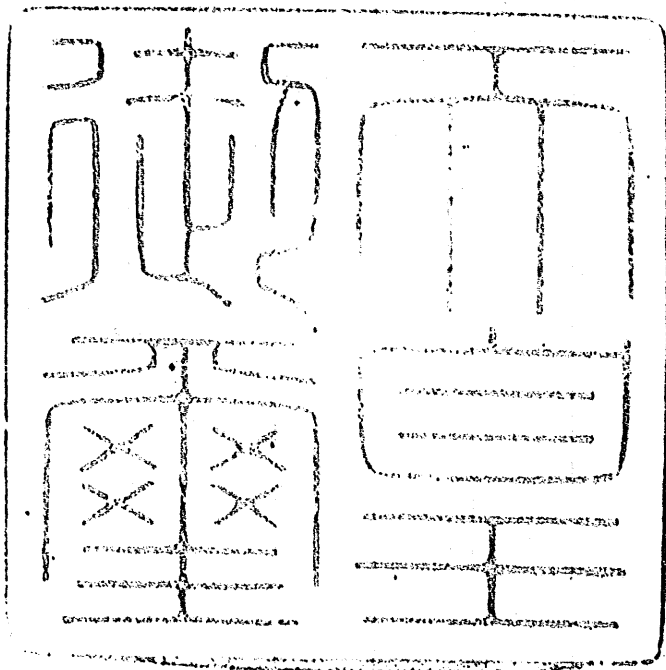


勅令第九十九号

朕樺太漁業令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ
シム

睦仁



明治四十年三月三十一日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
内務大臣 東 嘉

勅令第九十六號

樺太漁業令

第一條 本令ハ鮭鱒及鯿ノ漁業ニ適用
シ其ノ以外ノ漁業ニ関シテハ樺太廳
長官ノ定ムル所ニ依ル

第二條 漁業ハ各漁場毎ニ年限ヲ定メ
毎年納付スルキ漁業料ヲ競争入札ニ
付シ落札者ニ之ヲ免許ス
競争入札ニ於テハ樺太廳長官ノ豫定
スル金額以上ノ最高額ノ入札ヲ爲ス

者ヲ落札者トス但シ同額ノ入札者二人以上アルトキハ抽籤ニ依リ落札者ヲ定ム
樺太廳長官ハ競争入札加入者ノ資格ヲ定ムルコトヲ得

第三條 漁業權者ハ行政官廳ノ許可ヲ得無料ニテ薪炭用住宅其ノ他漁業ニ要スル建築及工作用並漁船漁具用ノ爲漁場附近ノ國有山林ヲ伐採スルコトヲ得

漁業權者ハ行政官廳ノ許可ヲ得無料ニテ住宅其ノ他建築及工作用敷地漁船漁具置場網乾場海産乾場並蔬菜園ニ必要ナル國有海濱地ヲ使用スルコトヲ得
本條ノ規定ハ樺太廳長官ノ定ムル所ニ依リ鮭鱒鯨以外ノ漁業ヲ爲ス者ニ適用スルコトヲ得但シ料金を納付セシムルコトヲ要ス

第四條 漁業料ノ納付ニ関スル規定ハ

樺太廳長官之ヲ定ム
既納ノ漁業料ハ如何ナル場合ト雖之
ヲ還付セズ

第五條 鮭鱒及鯿漁業ノ爲使用スヘキ
漁具ハ建網トス但シ鮭鱒漁業ニハ地
曳網ヲ使用スルコトヲ得
前項但書ニ依リ地曳網ヲ使用スル場
合ニハ建網ヲ使用スルコトヲ得ス
第六條 各漁場ニ使用スル建網ハ一統
ニ限ル但シ漁場ノ狀況ニ依リ鯿漁業

ニ限リ樺太廳長官ハ別ニ定ムル所ニ
依リ副網トシテ建網一統ノ使用ヲ許
可スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ副
網料ヲ納付スヘシ
前條但書ニ依ル地曳網ハ各漁場一統
ニ限ル

第七條 漁業權者ニシテ漁業料ヲ定期
内ニ納付セズ又ハ免許ノ條件ニ違背
シタルトキハ樺太廳長官ハ漁業ノ免
許ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

附則

第八條 本令ハ明治四十年四月一日ヨ
リ之ヲ施行ス

第九條 本令施行ノ際現ニ漁業ノ特許
證ヲ有スル者ハ特許證ノ定ムル所ニ
從ヒ本令ノ免許ヲ受ケタル者ト看做
ス

前項ノ漁業者ニシテ特許證ニ定メタ
ル期間ノ經過後繼續シテ漁業ヲ爲サ
ムトスル者ハ樺太廳長官ノ定メタル

期間内ニ漁業ノ免許ヲ出願スルコト
ヲ得此ノ場合ニ於テハ樺太廳長官ハ
當該漁場ノ漁業ニ付競争入札ニ依テ
スシテ漁業料ヲ定メ免許スルコトヲ
得

第十條 本令ハ土人ニシテ土人以外ノ
者ヲ使用セズ漁業ヲ爲ス場合ニ之ヲ
適用セズ